



脚の高さが調節できる

入浴用いすを確認しましょう



高さ調節機構が破損していないか確認

各脚のプッシュボタンが調節穴から大きく出た状態でロックされているか、使用前によく確認しましょう。また、ねじの緩みなど各部に異常がないか点検しましょう。



バネにさびが発生している場合は使用を中止

脚を取り外して内部を懐中電灯で照らすと、バネにさびが発生しているか目視で確認できる場合があります。さびが確認された場合は使用を中止しましょう。

- ① 脚を取り外す ② 懐中電灯で照らす ③ 内部を目視で確認する

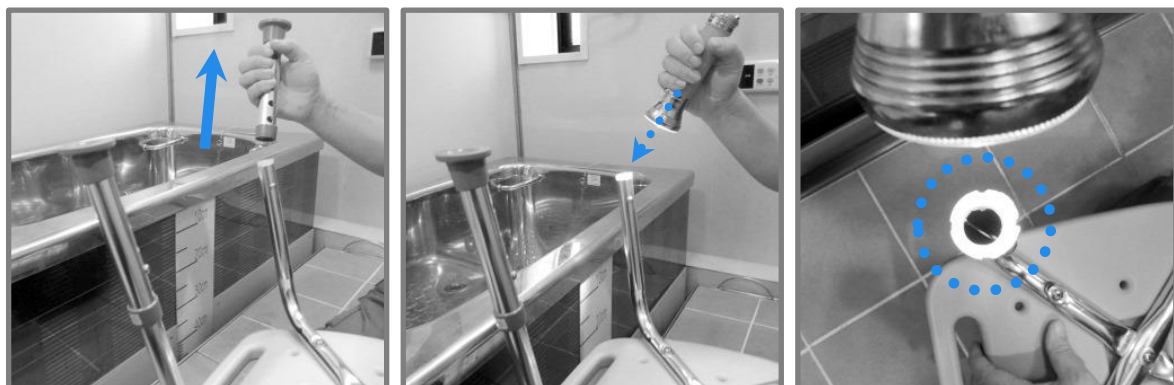


図8：バネのさびを確認する方法（一例）



購入するときはバネがステンレス製のものを選ぶ

プッシュボタン式の高さ調節機構のある入浴用いすを購入するときは、表示を確認してバネがステンレス製のものを選びましょう。鉄製に比べてさびの心配が少なくなります。材質表示がない場合は、購入前に販売元等に問い合わせましょう。

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。

<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。

<http://www.kokusen.go.jp/>

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、

被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。

特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。

商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。

無断転載はお断りいたします。



独立行政法人

国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2017年 1月発行

イラスト：川崎 敏郎

くらしの危険

Number

335

高さが調節できる 入浴用いす 脚の破損に注意！



入浴用いすの中には、脚の高さを調節できる商品があります。国民生活センターにはこれまでに、脚の高さ調節機構の破損に関するテスト依頼が2件あり、いずれも調節機構内部のバネにさびが発生し変形や折損が生じていました。

PIO-NET^{※1}には、2011年度以降の5年間に、入浴用いすの品質に関する相談が65件^{※2}寄せられています。高さ調節機構の不具合と考えられる事例は6件あり、そのうち1件は転倒によってけがを負っていました。また、2014年には1件の重大製品事故が公表^{※3}されています。

これらの入浴用いすは主に高齢者が裸で使用するため、使用中に脚の不具合が発生した場合には、転倒しけがを負う危険性が考えられます。この冊子を参考に、家にある入浴用いすを確認してみましょう。

※1: PIO-NET(全国消費生活情報ネットワークシステム)とは、国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する相談情報を蓄積しているデータベースのことです。

※2: 2011年度以降、2016年7月31日までの登録分。件数は本公表のために特別に事例を精査したものです。

※3: 重大製品事故とは、消費生活用製品安全法 第2条第6項において、「製品事故のうち、発生し、又は発生するおそれがある危害が重大であるものとして、当該危害の内容又は事故の態様に関し政令で定める要件に該当するもの」と規定されています。平成27年1月9日公表。

脚の高さ調節機構

(プッシュボタン式)



図1：脚の高さ調節機能付き入浴用いす(例)

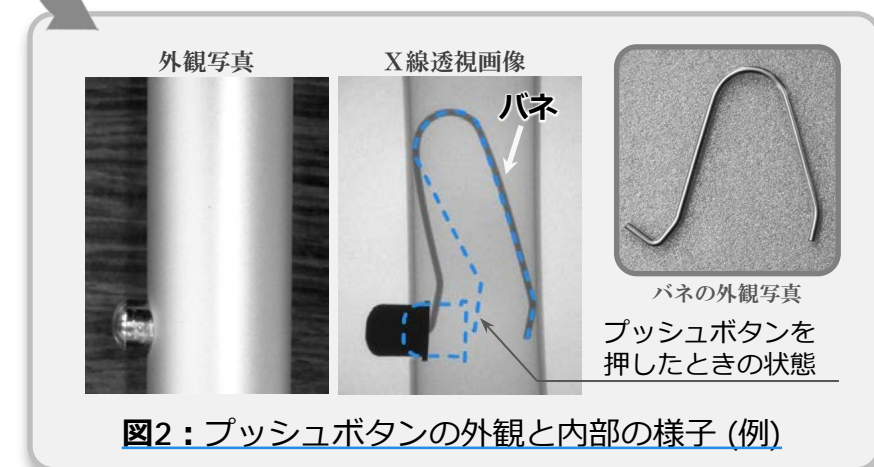


図2：プッシュボタンの外観と内部の様子(例)

相談事例

PIO-NETに寄せられた、入浴用いすの脚の高さ調節機構の不具合と考えられる事例。

ケース 1

浴室で使用する介護用いすを使用していたところ、片方の脚が突然低くなり、バランスを崩して転倒し、頭部に打撲傷等を負った。

(60歳代 男性)

ケース 2

使用中にいすの鉄製のバネが壊れ、いすが傾き転びそうになった。

(50歳代 男性)

ケース 3

1年前に介護用の入浴用いすを購入したが、固定ねじ(留め金)が外れた。

(50歳代 女性)

使用実態調査

【収集した入浴用いすの概要】●仕様：脚の高さ調節可能なもの
●収集時の使用期間条件：1年以上 ●収集個数：34脚(一般家庭使用 29脚、高齢者向け介護施設使用 5脚)

一般家庭や介護施設で1年以上使用していた入浴用いす34脚の提供を受け、商品の状態の調査とアンケート調査を実施しました。

調査した入浴用いすの20%以上(7脚)に、高さ調節機構のバネにさびが発生しており、いずれも鉄製のバネが使用されていました。また使用期間が3年未満でもさびが発生しているケースが確認されました。

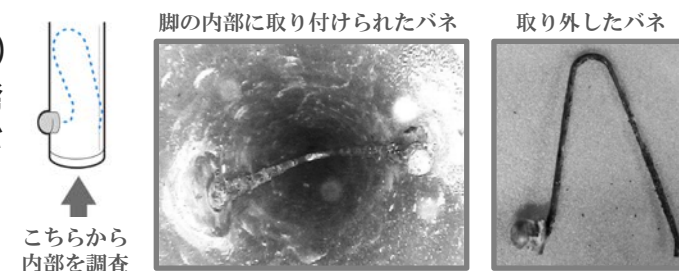


図3：さびが発生している様子(一例)

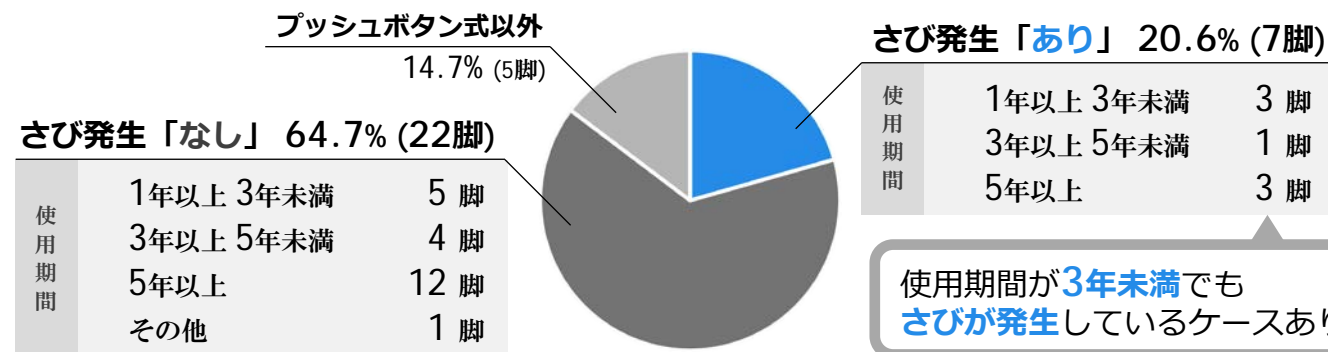


図4：提供を受けた入浴用いすのさび発生の有無と使用期間の内訳 (n=34)

商品
テスト

バネの材質や耐腐食性を調べてみました

市販されているプッシュボタンによる高さ調節機能が付いた入浴用いす10銘柄をテスト対象としました。



図5：テスト対象の入浴用いす(10銘柄)

● バネの材質

2銘柄が「鉄製」

8銘柄が「ステンレス製」

取扱説明書にバネの材質を表示していたのは1銘柄のみでした。

◆ 金属の“腐食”とは
環境中の酸素や水などの化学反応によって金属に損傷が起こること。腐食すると強度が低下し機能が損なわれる。

● 腐食促進試験

JIS※4の定めにしたサイクル腐食促進試験
※4: JIS H8502 めっきの耐久試験方法8項 中性塩水噴霧サイクル試験

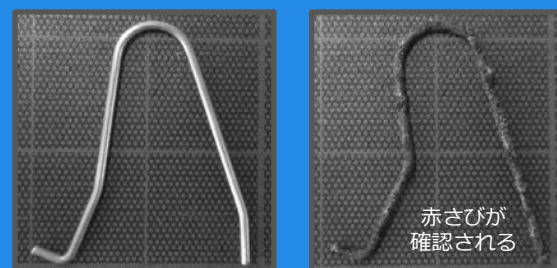


図6：試験後のバネの様子(一例)

鉄製のバネにさびが発生

● 耐久性試験

実使用を想定した浴室環境でのサイクル試験



室温：25℃
湿度：95%

試験液 ★は試験液を40℃に設定

- 風呂用洗剤(4種) ... A-D
- お湯★ ... E
- ボディソープ★ ... F
- シャンプー(2種)★ ... G-H
- 入浴剤(2種)★ ... I-J

図7：試験の様子(浸漬時)

	試験液										さび	
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		
鉄製 1	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆ 発生 ○ なし
鉄製 2	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
ステンレス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

鉄製のバネはお湯でもさびが発生